

第31回「豊かな農村づくり」写真展

北の農村 フォトコンテスト

作品募集期間

平成29年4月末日まで

募集要項

応募期限 平成29年4月末日まで

応募資格 どなたでもご自由に応募頂けます。

未発表作品(他のコンテストを含め過去に応募した作品は審査対象外)に限ります。

賞

- 金賞 3点(5万円)
- 銀賞 3点(3万円)
- 銅賞 5点(2万円)
- 協会賞 3点(2万円)
- 特別賞…園場景観賞 1点(2万円)
作物の花賞 1点(2万円)

●佳作若干(1万円)

審査員

梅田安治(北大名誉教授・農村空間研究所所長)
谷口勲夫(写真家)
中井和子(環境デザイナー)
森久美子(作家) ほか

入賞発表

規定 平成29年6月1日(協会ホームページにて掲載)

規定 (プリントでの応募の場合)

●四つ切り(25.4cm×30.5cm)又はA4(21.0cm

×29.7cm)サイズで郵送してください。

(画像データでの応募の場合)

●JPEG形式で、四つ切り又はA4サイズで印刷可能な解像度データをCD-R等に保存の上、郵送してください。尚、画像加工した写真は応募できません。

(共通事項)

●撮影日は平成27年1月1日以降のものに限ります。

●応募枚数5作品までとします。(組写真は不可)

●組写真及び規定サイズ(四つ切り又はA4サイズ)以外の写真は審査の対象から外れますのでご注意ください。

●出品作品には作品の表題・撮影場所・撮影年月日(和暦)と撮影者の氏名・郵便番号・住所・年齢・職業・電話番号を協会ホームページ又は公募チラシ裏面の様式に基づき記入し、写真裏面に貼付してください。(画像データで応募される場合も同様に、画像每わかるよう様式に基づき提出してください。)

●応募作品の著作権は主催者側に帰属し、作品の返却は致しません。

主催 (一社)北海道土地改良設計技術協会

後援 北海道開発局

●ご応募いただいた皆様全員に御礼としまして、応募作品より作成した「2018北の農村カレンダー」を、無料進呈させていただきます。

作品の提出先

一般社団法人 北海道土地改良設計技術協会

広報委員会宛

〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目 NDビル8F

Tel. 011-726-6038

ホームページアドレス <http://www.aeca.or.jp/>

第30回「豊かな農村づくり」写真展応募作品 上から
ジャガイモの花(洞爺湖町)、霧に煙る牧場(幌延町)、黄金のライン(美瑛町)

農村、そこには人びとの生活と生産の物語があります。
その物語を支える自然、農地、そして多くの施設があります。
その息づく風景を「コマ」の写真として…



第31回（2018-H28）

「豊かな農村づくり」写真展
北の農村フォトコンテスト

出展作品

H29.8.28(予定)

（一社）北海道土地改良設計技術協会

春



1 水鏡
安部 正志 芦別市 新城 2016年5月

北海道のだ真ん中、中山間・新城地域田の代かき直前に写る山系。



4 植付もう一息
小垣 恵子 清里町 2016年5月

斜里岳が見守る春先の秋まき小麦と耕起作業スタート。



2 絶景の妙
岩山 優光 七飯町 城岱牧場 2016年4月

丘陵地の城岱牧場から大沼方面に見る駒ヶ岳の全景。



5 私の仕事
藤澤 敬一 北見市美園 2016年5月

最北の稲作でもち米が順調に育つように補植に精を出す。



3 丘陵地の躍動
南波 嶺雄 清里町 2015年5月

残雪が残る斜里岳の麓で春一番の畑地耕起作業が始まる。



6 春のひとつき
佐々木 直子 美瑛町 2016年5月

牧場に春が来た、満開の桜と牧草の生育も順調で放牧が始まる。



7 農耕日和
佐々木 直子 富良野町 2016年5月

残雪が残る十勝連峰の麓で春の植え付け作業が本格的に始まる。



10 輝く畝
今野 昭夫 滝川市 2015年5月

春耕された畑に複数の畝が続く、1本の立木が畑を見守る。



8 春の木漏れ日
木村 実 浦河町 2016年5月

牧場の木漏れ日の光の中で春駒が若草をのんびりと。



11 彩りの畦道
今野 昭夫 秩父別町 2015年5月

芝桜のあぜ道が見守る中で、もうすぐ田植えが始まる。



9 新緑の輝き
高田 悦也 芽室町 2015年4月

日高の山々の残雪とカラマツ防風林、秋まき小麦の緑の芽吹き。



12 春・満開
佐伯 義晃 増毛町 2015年5月

残雪を残す暑寒岳の山々が満開の菜の花を一望する。



13 春はすぐそこ
長友 逸郎 美瑛町 2017年3月

融雪剤散布で畑を縞模様になり、1日も早い農作業の時を待つ。



16 縞模様畑
山岸 真理 名寄市東雲峠 2016年3月

丘陵大地の畑に早い農作業の訪れへ向けて融雪剤が畑一面に。



14 春の日差しの中で
中村 宏 美瑛町 2017年3月

丘陵地の畑に様々な縞模様を融雪剤の散布一面に描く。



17 春景
古平 文男 三笠市岡山 2016年5月

桜の木々が見守る畑の緑の芽吹きが一斉に。



15 黄金の郷
山岸 真理 名寄市曙 2015年5月

夕日に映える水田での稲の補植に精を出す。



18 玉葱移植終えて
空 幸雄 北見市端野町 2016年4月

全道一の生産量を誇るタマネギの移植を終えてホッと畑を見守る。



19 春を招く渦巻き
浜田 洋一 上富良野町里仁 2016年3月

早く土をみたいと融雪剤の下を雪解け水が流れる、もうすぐ春！



22 つばさをひろげて
佐々木 一郎 清水町 2016年5月

春の畑仕事が始まった、早速のスプレイヤーでの防除作業開始。



20 春間近
佐藤 賢哉 美瑛町 2017年3月

十勝連峰の深い雪景色と麓では融雪剤散布で真っ白な雪面に縞模様。



23 農作業開始
真田 美代子 倶知安町 2017年3月

羊蹄山を真正面にして融雪剤による農作業がスタートする。



21 残雪の山に見守られて
佐々木 一郎 芽室町光勇 2016年5月

日高山脈の残雪の麓でビートの補植の出来秋に期待の農作業中。



24 春よ来い
千葉 馨 雨竜町 2015年3月

もう2ヶ月先には田植えが待つ、育苗ハウスの準備に余念がない。



25 春の足音
佐藤 有芳 芽室町上美生 2017年3月

カラマツ防風林に守られた畑にも融雪剤で1日も早い春を待つ。



28 羊蹄を写して
掛村 一憲 倶知安町 2016年5月

田植え後の田んぼに羊蹄山がくっきりと浮かび上がる。



26 りんごの花
田中 知子 音更町 2016年5月

可憐なリンゴの花が出来秋の豊作を予想させる。



29 春を待つ
菅野 久仁子 当別町 2017年3月

雪解けを待つ融雪剤散布後の落日が照り輝く。



27 代掻き
吉村 登美子 黒松内町 2016年5月

周囲の山々はまだ雪景色だが、麓では代かきが始まっている。



30 目覚めの一瞬(とき)
菅野 久仁子 音更町 2016年5月

日に日に緑が増し、畑の作物も健やかな成長を魅せる。



31 春の鼓動
加賀屋 茂 安平町追分 2015年5月

白樺の間から大型トラクターでの春耕が進み、土の色が変わる。



34 羊蹄山麓に春(土)の匂い
田中 康夫 倶知安町 2016年5月

羊蹄山が見守る中で春耕が始まる新しい土が、こんにちとは顔を出す。



32 大地の春
加賀屋 茂 上富良野町 2015年4月

秋まき小麦の春一番の防除が進む、7月下旬の出来が楽しみだ。



35 春耕
湯浅 啓喜 洞爺湖町 2016年5月

残雪残る羊蹄山が遠くから見守る春の耕起作業を黙々と。



33 5月の水田
住友 照明 美瑛市 2016年5月

田植えが終わり苗が元気にスクスクと。隣の畑では菜種(菜の花)が咲き誇る。



36 春の匂い
中田 美恵子 富良野市 2016年3月

風雪に耐えて厳寒を過ごした1本の木にも春が訪れる。



37 初夏の色、菜の花(2)
石田 享 滝川市 2016年5月

全道一の菜種の畑が広がり、菜と花と種がすべて利用される。



40 春雪のアート
西岡 尚央 芽室町 2017年4月

真っ白な雪のキャンパスにブロードキャスターで描く春の訪れ。



38 春の植ええ
中沢 靖夫 東神楽町 2015年4月

春の農作業が一斉にスタートする耕起と種まき作業。



41 優駿の里
田村 謙次 浦河町 2015年5月

春駒2頭が桜花咲く下で旅立ちの初夏に備える。



39 花見日和
中沢 靖夫 美瑛町聖台ダム 2015年5月

河辺に桜の花が咲き乱れ、川の水も和む時期に。



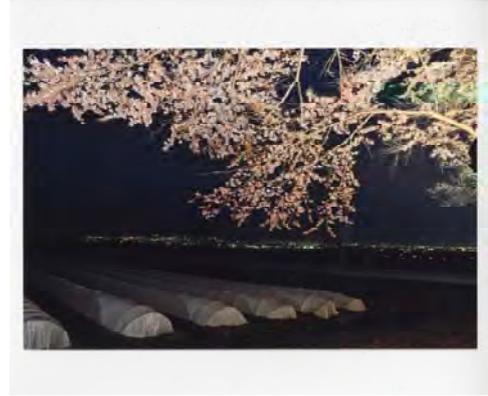
42 雪解けのころ
布施 和史 士別市川西町 2017年4月

丘陵台地に春の陽光で雪解けが進み、もうすぐ春の訪れが…



43 大地の恵み
出口 博司 帯広市 2016年5月

秋まき小麦の収穫に備え大型コンバインが待機する。



46 夜桜に包まれて
平野 好恵 函館市 2016年5月

夜桜が見守るトンネルハウスと函館市内の夜景が写る。



44 春の目覚め
出口 博司 芽室町 2015年4月

まだ春遠い日高山脈の麓で秋まき小麦が目覚めるとき。



47 夕暮れの水田
池永 千里 東神楽町 2016年5月

田植えを控え、夕陽が水張りを控えた水田を映し出す。



45 朝の静寂
増井 典子 滝川市江部乙町 2016年5月

田植えを控えた田面に育苗ハウスと防風網が影を差す。



48 ブルーシャーベットの春
池永 靖子 上富良野町 2017年3月

大雪連峰の麓で雪の造形が様々な形を見せる。



49 大地に描くストライプ
近藤 哲 旭川市西神楽 2016年5月

1日も早く成長せよとマルチ栽培のビニール大地を覆う。



52 さあ、仕事始めだ！
南 太一 浦臼町 2017年4月

遠くに暑寒別岳の残雪を眺めつつ、田起こしが進められる。



50 一本一本、丁寧に。
長原 純香 美幌高校 農場 2017年4月

1つの苗の大切さが次代の品種の開発へ結びつくきっかけに。



53 キカラシと大雪連山
前田 賢一 旭川市 2015年5月

残雪残る十勝連峰を遠景に、畑を豊かにする緑肥のキカラシが彩る。



51 満開の桜と春耕
丸島 裕一 美瑛町 2015年5月

北海道にもようやく桜の開花が訪れ農作業もピークを迎える。



54 残雪に見守られて
堀内 勇 美瑛町 2016年5月

残雪残る十勝連峰の麓の畑で春の耕起作業が続けられる。



55 春夢の畑
三浦 早智子 音更町 2017年4月

外気温より豊かな大地の熱が湯気立ち、
収穫の豊かさを映し出す。



58 豊穡の丘
佐藤 馨 八雲町熱田 2016年5月

内浦湾の畑地の1本松と対岸に写る羊蹄山
の遠映がくっきりと。



56 早苗月
武内 聡 南幌町 2016年5月

水稻の稚苗を守る白樺防風林が南風で同
一方向に姿勢を形づくる。



59 春爛漫
竹田 和美 真狩村 2016年5月

名峰羊蹄山の麓に広がるアスパラガスの
畝が収穫を控える。



57 春うらら
佐々木 せい子 新ひだか町静内 2016年5月

山々が一斉に芽吹き、桜が満開と春駒牧
場の遠映を一望。

夏



60 目覚める大地
安部 正志 芦別市 新城 2016年6月

朝焼けがもうすぐ、北海道中央に位置するマルチ畑が映し出される。



63 真夏の奮闘
宮田 淳司 美瑛町 2016年8月

牧草の乾燥・調整作業が急がれ、後方のロールベールが作られる。



61 牧草が舞う
菊地 正 浦河町 上柙臼 2015年7月

牧草の乾草作り作業が天候との競争で急がれる。



64 私の第2の故郷
荒 友見 虹田郡真狩村フラワーパーク 2016年7月

後志地方の秀峰羊蹄山の麓に広がる野菜畑が整然と並ぶ。



62 実りの大地
菊地 正 小清水町 美和 2015年7月

左の収穫直前の秋まき小麦と馬鈴薯の花々が大地を彩る。



65 実りの夏
前原 卓見 帯広市昭和町 2016年8月

秋まき小麦が収穫を迎え、豊作を期待するように青空が広がる。



66 牧草地を駆ける
佐々木 郁太郎 猿払村 2016年8月

ロールベールサイレージの収穫後にエゾシカの親子が戯れる。



69 食
植野 靖子 白糠町 2016年8月

冷涼な気候の放牧地でホルスタインとジャージーが草をはむ。



67 大豊作
高橋 義 上富良野町 2016年8月

さあ、大忙しだ、丘陵台地でジャガイモ収穫が進められる。



70 Lady's おすまし
植野 靖子 白糠町 2016年8月

豊かな乳脂肪率を誇るジャージー種がチーズ原材料を生み出す。



68 豊作への願い
高橋 義 京極町 2016年6月

尻別岳の麓に位置する小学校と野菜畑の畝が広がる。



71 夏のムギとジャガイモ畑
勝山 重雄 清里町 2016年7月

収穫を間近にした春小麦と馬鈴薯の花が咲き乱れる畑。



72 「何かご用？」
丸山 尚代 えりも町 2015年7月

時代は健康志向で赤肉が見直される「えりも短角牛」がご挨拶？



75 田園アート
古平 文男 雨竜町 2016年8月

稲にも様々な品種仲間がいる、コメの消費拡大に頑張るぞ。



73 豊年縞模様
秋山 密雄 ルスツ町 2016年6月

カボチャやメロンなど果実的野菜類がマルチ栽培で安定生産を約束。



76 花とパッチワーク
高野 正行 上富良野町 2015年7月

富良野盆地の丘陵台地に農作物と花々とのパッチワーク、遠くに十勝連峰を望み、緑豊かな農村景観を形成する。



74 初夏
長友 逸郎 美瑛町 2016年6月

冬場の飼料生産を着実に進める青空の下で、牧草の乾燥調製作業中。



77 来期の作付け準備出来ました
高野 正行 美瑛町 2015年7月

今年前期の収穫を終え、秋まき小麦の作付け準備を整える。



78 天まで昇る！
小林 龍平 士別市川西の丘 2015年6月

カボチャ？のマルチ栽培のビニール畝が丘陵台地の空を目指す。



81 麦の絨毯
大山 勝己 旭川市就実の丘 2016年7月

収穫を目前に控えた秋まき小麦が畑一面に広がる。



79 牧草刈り
小林 龍平 士別市多寄町真狩 2016年6月

青空の下で豊かな飼料生産の牧草刈り取り作業に取り組む。



82 収穫間際の麦畑
大山 勝己 旭川市就実の丘 2016年7月

丘陵地に広がる収穫直前の茶色の麦畑と緑のてん菜畑が遠望。



80 羊の楽園
小山内 義紀羽幌町焼尻 2016年7月

たたずむ焼尻島の羊（サフォーク種・肉用）の群れと日本海の遠望。



83 牧草ロールの丘
浜田 洋一 美瑛町新栄 2016年7月

美瑛の丘で、乾草ロールバールが点在し、冬場の飼料が準備できた。



84 夫婦仲良く
三好 範子 美瑛町 2015年7月

夫婦？で畑の管理、手前は麦畑と作業はカボチャ畑か？



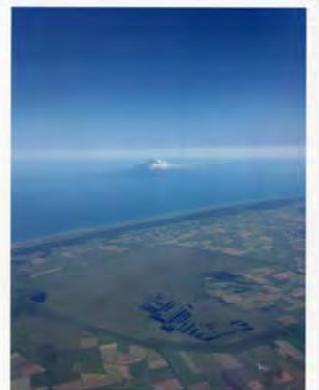
87 ストライプの畑
桧枝 広美 大空町 2016年7月

オホーツクの畑作3品(麦・大豆・てん菜)がくっきりと彩る。



85 豆の中耕作業
半谷 安雄 芽室町 2016年6月

豆類の除草作業をカルチベーターで開始する。



88 利尻富士
安藤 秀喜 稚内付近上空の機内 2016年7月

日本海に浮かぶ利尻富士が遠望、手前はサロベツの農地が広がる。



86 盛夏の頃
桧枝 広美 大空町 2016年6月

地形に沿って波打つ農道をトラクターが1台、農作業に向かう。



89 白虹
佐藤 賢哉 美瑛町 2016年6月

美瑛の丘に点在する畑地の中の木々に虹が映し出す。



90 水貯めのあぜ道
沼田 信廣 浦臼町 2016年7月

田んぼの畦道の除草を草刈りで、害虫の
住み処の解消へ。



93 豊作を願う
山下 和子 倶知安町 2016年6月

ニセコ mountain ranges as a backdrop, the rows of crops planted after the field are neat, giving a sense of abundance.



91 霧雨の見守り
沼田 信廣 芦別市 2016年6月

霧雨の中でトンビが畑のネズミなどを監視する。



94 大地の創世
松村 永子 美瑛町憩が丘 2016年6月

Spring planting is almost over, and young sprouts of vegetables are growing in the fields.



92 田んぼの落陽
真田 美代子 倶知安町 2016年6月

Young seedlings are growing in the field, and the sunset is reflected in the water.



95 ミュージカル劇団“びえい”
松村 永子 美瑛町北西の丘 2016年6月

Just before the summer arrival in Bihei, various wildflowers and crops are in preparation.



96 防除のころ
佐藤 有芳 美瑛町置杵牛 2016年7月

美瑛の丘の広い畑で小麦の防除がブーム式スプレーで行われる。



99 塩風渡る
山崎 久子 石狩市望来 2016年7月

石狩湾を望む丘陵台地に馬鈴薯の花が咲き乱れる。



97 紺碧の空
梅澤 勇二 幌加内町親和 2016年8月

青空に日本一のソバの作付面積を誇る幌加内の一望。



100 回復
生駒 勇喜 当別町獅子内 2016年8月

収穫後の作物の茎葉を燃やし病虫害除去を図る作業の一環。



98 緑と土のアート
山崎 久子 ニセコ町 2015年8月

キャベツ？整然と畝をなす羊蹄山の麓の野菜畑で中間除草中。



101 麦の収穫
中島 英明 網走市 2016年8月

さあ収穫だ！大型コンバインで天気を祈りつつ、小麦の一斉収穫へ。



102 花と大地
小林 ひとみ 中富良野町 2016年8月

大雪山連峰を目前に富良野盆地の畑をルピナスが見守る。



105 太陽の恵み
加藤 明彦 幌加内町 2016年7月

幌加内の青空にソバ畑が一面に広がり出来秋を迎える。



103 緑の地平
小林 ひとみ 斜里町ウナベツ 2016年7月

広い畑にすくすく育つニンジン?の畝、出来秋が楽しみに。



106 初秋のそば畑
加藤 明彦 幌加内町 2015年8月

全国一の生産量を誇る幌加内のソバ畑に収穫が迫る、ソバ祭りももうすぐだ。ソバ祭りは8月末～9月上旬に開かれる。



104 じゃがいも畑の夏
竹内 健太郎 士別市川西町 2016年7月

暑い夏が到来、青空に馬鈴薯の花が咲き乱れる。



107 青空が最高！！
西岡 尚央 士幌町 2016年8月

士幌高原牧場でのんびりと草を食む若牛たち。大きく育てよ！



108 夏の日
浦滝 正男 美瑛町 2016年7月

美瑛の丘の上空から1塊の雲が麦の出来を見守る。



111 赤麦の丘
村上 優司 美瑛町 2016年7月

写真家・故 前田真三氏の「麦秋鮮烈」で今日の美瑛の丘を一躍有名にした赤麦の「タクネ」今は地場産品として「地ビール」や「うどん」などの商品化に取り組む。



109 実り豊かに
水谷 淳 深川市 2016年8月

夏もそろそろ終わりにになり、稲穂も着実に色つき始め、収穫の秋が楽しみだ。



112 麦の丘
村上 優司 美瑛町 2016年7月

341と同じ。



110 アイガモの参加(合鴨農法)
平尾 敦子 せたな町 2016年6月

食の安全・安心に一役貢献しているアイガモの若鳥たちが若草の芽をついばみ、除草の働きをしている。



113 虹と牛
中村 香苗 洞爺湖町月浦 2016年6月

洞爺湖の中島を対岸の牧場から黒毛和牛たちがのんびりと草を食む。



114 ロール広がる丘
増井 道英 稚内市宗谷村 2015年8月

宗谷湾を望む丘陵地から冬の餌(ロールベール)の準備が着々と進む。



117 雨上がりの丘と空
池永 千里 美瑛町 2016年7月

美瑛の丘に収穫を控えた小麦と豆類や馬鈴薯が競うように。



115 長いもネット
増井 典子 幕別町 2016年6月

十勝特産の長芋の若葉が生い茂る準備を整えるネット網張り。



118 A tree
池永 靖子 旭川市西神楽 2016年6月

波打つ畑でトラクターが防除や除草作業を1本の木が見守る。



116 夕暮れ時
平野 好恵 岩見沢市 2016年7月

ポプラ並木が夕映えの田んぼの水面に影を落とす。



119 日に向かう
高橋 海月 女満別空港 2016年7月

ヒマワリが出迎える女満別空港に航空便が舞い降りる、いらっしゃい！



120 花の頃
河原 典子 芦別市 2015年7月

芦別市の丘陵地畑地に馬鈴薯の花々が咲き揃い、美しい景観となる。



123 ロールころころ
三浦 早智子 豊頃町 2016年8月

町のシンボル「ハルニレの木(推定150年)」周辺の草地にロールベール(400~500kg/個)が点在、冬季の乳牛の餌になる。



121 雨上がり
河原 典子 芦別市 2015年8月

芦別市新城の風情豊かな農村景観が雨上がり虹が舞い降りる。



124 目覚め
滝口 和宏 津別町 2016年7月

山間地の津別の花咲く馬鈴薯畑に朝霧が立ち上る。



122 黄金の大地
堀内 勇 美瑛町 2015年7月

夏雲が空をゆっくりと流れ収穫間近の小麦畑を見下ろす。



125 牧草ロール
滝口 和宏 大空町 2016年8月

女満別空港に近く、メルヘンの丘に3本の木がロールベール(400~500kg/個)を見守り、乳牛の冬季の貴重な食べ物となる。



126 流れ模様
前田 俊一 真狩村 2015年6月

マルチ栽培されたスイートコーンが豊かな土に生まれスクスク育つ。



129 一目一千万本
鹿島 和生 幌加内町 2015年8月

山間地の幌加内の畑に年に2度目の白い季節(ソバの花)が訪れる。



127 収穫を終えて
前田 俊一 美瑛町 2016年8月

2番牧草の収穫を終えロールベールが畜舎周辺への運搬を待つ。



130 朝霧に包まれる大地
鹿島 和生 美瑛町 2015年8月

畑からの蒸発散で朝霧が発生し、美瑛の丘が幻想的な世界に包まれる。



128 光る丘
竹田 司 美瑛町 2016年7月

十勝連峰を目前に美瑛の丘の畑のパッチワークが展望できる。

秋



131 秋の畑
加藤 幸雄 芽室町 2015年10月

秋の畑で収穫を待つ、馬鈴薯畑を1本の木が見守る。



134 キラキラ
平山 心祐 美瑛町 2016年9月

天高い秋空に、豊かな草を育む牛たちも三々五々に。



132 収穫
加藤 幸雄 芽室町 2015年10月

カラマツが茶色に染まる晩秋、てん菜の収穫がピークを迎える。



135 玉ねぎの出荷待ち
宮田 淳司 北見市 2016年9月

スケールコンテナ(約1トン/個)に詰め込まれ、全国の消費地に旅立つ日待つタマネギ、雨よけにビニールハットを被る。



133 日の入りまで、もう少しとコンバインを
岩山 優光 七飯町 軍川 2016年9月

さあ急ぐぞ、駒ヶ岳が見守る中でコンバインによる稲刈りが始まる。



136 サイロの見える風景
小倉 光男 千歳市 東千歳 2016年10月

秋空の下で豆類?の畝が整然と列をなし、遠くのサイロが畑を見守る。



137 雪と土のコントラスト
南波 嶺雄 北見市端野町 共和 2015年11月

いよいよ冬の訪れか、畑の土と雪の白さがコントラストを描く。



140 Me too
小野 絵理子メロン栽培ハウス 2016年10月

美しい縞模様を描いたメロンの仕上がりで食卓を飾るか。



138 冬に備えて
沢口 修 比布町 2016年9月

今は少なくなった牧草ロールを畜舎の二階に収納し、家畜の冬の餌に。



141 雪化粧
藤澤 敬一 北見市美園 2016年11月

早い降雪が訪れニオ積みされた菜豆類の列に雪帽子を被らせる。



139 草ロールの有る風景
小垣 恵子 北見市端野町耕牛内 2015年10月

天高く豊かな北の大地に牧草ロール(400~500kg/個)所狭しと並ぶ。



142 小雪の長いも掘り
前原 卓見 中札内村 2016年11月

初冬の十勝の大地に特産の十勝川西長芋の収穫作業が進む。



143 冬の足音
佐々木 郁太郎 美瑛町 2016年10月

初冬の降雪、緑の畝の秋まき小麦と防風林のカラマツが茶色に変化。



146 マリーゴールドの花美しく
古野 柳太郎 七飯町 2016年10月

美しい花に棘がある、土中のセンチウ退治に力を発揮するマリーゴールドが野菜畑の前後作を。食の安全・安心に貢献も。



144 玉ネギ畑の印象
勝山 重雄 津別町 2015年9月

収穫を目前にしたタマネギ畑で茎葉と根切りを待つ。



147 刈り取り後の夕暮れ時
佐伯 義晃 増毛町 2015年10月

晩秋に山々の木々が冬を控えて見繕いを急ぐ。



145 雨あがりの朝
木村 実 新ひだか町 2015年9月

サラブレッドの親子が晩秋の牧場を散策する、出番は近い。



148 十勝の農業
飛田 信明 中札内村 2016年10月

秋空に収穫を目前にした畑が広がる全道一の農業生産力の十勝地方。



149 豊穰の秋
空 幸雄 北見市端野町 2015年9月

風乾する菜豆類をはさ掛けし、色づき味を豊かにする効果を期待。



152 白豆のニオ
半谷 安雄 留辺蘂町 2016年10月

高級菜豆の「白花豆」が豆ハットを被ってニオを積み、風乾することで色良い着色と味の良さを際立たせる。白餡としてデビューも。



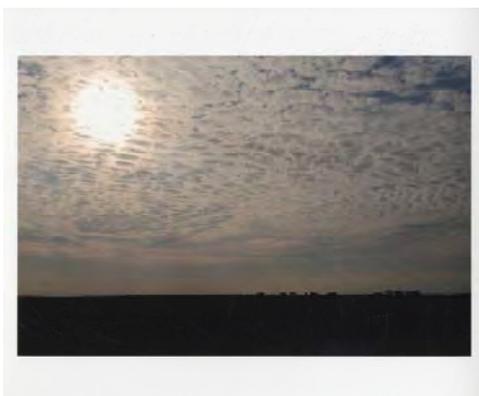
150 また明日
増井 諭 豊富町 2016年9月

夕日を受けて放牧地にたたずむ若牛1頭、珍しい人の訪れ待つ。



153 陽光をあびて
中村 寛 安平町 2016年9月

秋空の陽光を浴びて秋まき小麦がじっと冬を耐える準備に入る。



151 暁の牧場
小山内 義紀 網走市能取岬 2016年9月

晩秋の早朝に鱗雲が空を覆う下で牧場が目覚める。



154 めぐる季節
中村 寛 美瑛町 2016年10月

収穫を終えた畑に、大雪連峰の山々にもうっすらと白い物が訪れる。



155 カボチャロード
中村 良子 長沼町 2016年10月

ハロウィンの季節を迎え、カボチャが町内の道路を彩る。



158 知床の夕陽
片桐 千陽子 知床町夕陽台 2016年9月

知床の港に晩秋の夕日が訪れる。



156 静かな秋
中村 良子 安平町 2016年9月

収穫終えた畑が冬を迎えて一休みの時を迎える。



159 郷の朝霧
千葉 馨 滝川市江部乙町 2016年9月

空知の稲作地帯の収穫も最終を迎え季節変わりの朝霧が一体を覆う。



157 肥培かんがい施設建設
岡本 孝幸 別海槍昔 2016年10月

乳牛の白い水(乳)と茶色い水(糞尿)を同時に生かし、周辺河川への流出も防止して地域基幹産業の振興と農村景観の保全を果たす役割。



160 天然貯蔵(長イモ)
田中 知子 夕張市 2016年10月

十勝川西長芋の元祖、夕張の長芋が翌春の収穫まで畑の中で眠りに入る、春には甘い長芋になるぞ！



161 もうひと仕事！
吉村 登美子 むかわ町 2016年10月

田んぼで収穫後のニオが整然と並ぶ、藁としての利用を待つ。



164 穀倉の郷
千葉 りつ子 北竜町 2016年9月

ススキの穂が見える高台から空知の水稲の出来秋を一望する。



162 二人の世界
吉村 剛 栗山町 2016年10月

収穫後の田んぼに影2つ、虹の輪が遠くの家々と一緒に包み込む。



165 秋の畑の彩り
掛村 一憲 旭川市 2016年9月

太陽の光が一点に差すパッチワークの畑を浮き彫りにする。



163 ハセ掛け
吉村 剛 千歳市 2016年10月

今では珍しい風景となった乾燥の「はさ掛け」。おいしい米の出来が期待される。



166 薄雪のゆり根畑
加藤 満代 真狩村 2016年11月

白いハットを被った羊蹄山の麓で長い時を過ごしたユリ根がいよいよ出番を迎える。(出荷まで6年を必要とする)



167 今年最後の収穫
今井 欣一 美幌町 2016年10月

晩秋の茶色に染まったカラマツ林が見守る豆類の収穫作業が進む。



170 秋仕舞
梅澤 勇二 美瑛町美沢 2015年10月

大雪連峰に雪が覆い、山々の木々も葉を落とす中でタマネギの最終版の収穫が大急ぎで進められる。



168 秋の棚田
藪 伸一 芦別市新城町 2015年9月

北海道では珍しい棚田を朝靄が覆う山間地の新城地域。



171 収穫の秋の北斗七星
山田 清滋 洞爺湖町 2016年10月

高級菜豆の収穫後の畑に蔓の支柱が集められ畑に林立する遠くで羊蹄山が星空の下で見守る。



169 麦畑の丘
藪 伸一 芦別市新城町 2016年9月

山間の丘陵台地に広がる晩秋の麦畑、低地には朝靄が漂う。



172 豊作祝う虹
斉藤 宏和 富良野市 2016年9月

出来秋を祝うように七色の虹が田んぼを祝福している。



173 招かざる冬の使者
齊藤 宏和 美瑛町 2016年10月

豆ハットが覆うニオに初雪が舞い降りる。
もうすぐ長い眠りの季節。



176 山に大きな牛
船木 誠 中標津町養老牛 2016年9月

牧草地の斜面に描かれた「牛」文字。酪農地帯の一風景。



174 長閑な羊の放牧
田中 康夫 恵庭市 2016年10月

今では飼養頭数が少ない羊、観光牧場の放牧地ではサフォーク種(肉用)の群れがのんびりと草を食む。



177 冬の訪れ
山内 佳子 千歳市 2016年10月

収穫を終えた畑に冬が到来、土の黒と雪の白が山々の木々の色と美しいコントラストを描く。



175 大豆のニオ積み
中島 英明 津別町 2016年10月

晩秋で山々の木々も様々な色合いを魅せる中、豆ハットを被ったニオ積みの大豆が収穫の時を待つ。



178 収穫の終わりと紅葉
竹内 健太郎 士別市川西町 2016年10月

秋の収穫を終えてカラマツ防風林を背にトラクターが家路を急ぐ。



179 収穫の前に、丹精込めて(2)
石田 享 留寿都村 2016年9月

きれいに整備された畑を木々が囲み、野菜類の安定生産が営まれる。



182 晩秋
浦滝 正男 美瑛町 2015年10月

いよいよ雪の季節の到来、すでに大雪連峰は白い姿を見せている。



180 金色の大地
岩見 陽子 東川町 2016年9月

整然と区画された水田で、出来秋が訪れる東川の田園風景。



183 豊穣
竹田 徹夫 知内町 2016年9月

豊穣の出来秋に1人微笑むお母さんの手に手応えを感じる。



181 基盤の目
岩見 陽子 東川町 2016年9月

明治から大正に開拓され、植民区画上に基盤の目のように整備された水田が町並み景観と形成する上川地方の田園風景を形つくる。



184 秋風光る
水谷 淳 深川市 2016年9月

石狩川堤防沿いに秋空が広がる空知地方の一つの景観。



185 羊蹄山に向かいて
中谷 利勝 真狩村 2016年10月

白い帽子を被った羊蹄山の裾野に向かって1本の道が秋風景と共に。



188 収穫を終えて
平野 眞佐男ニセコ町 2016年10月

羊蹄山の麓で収穫を終えた畑に残った茎葉の残渣物を野焼きにして、病害虫防除の煙がたなびく。



186 秋の気配
増井 道英 中札内村 2016年10月

日高山脈の遠景を望む十勝の大地に秋まき小麦の畝が冬を待つ。



189 秋日和の朝
高坂 洋 旭川市西神楽 2016年9月

上川地方の丘陵台地に牧草や小麦、豆類などと地形の狭間に木々等でコントラストを描く地形が広がる。



187 豆ニオ秋景色
平野 眞佐男北見市温根湯 2015年10月

高級菜豆「白花豆」などの高品質化を維持する風乾のニオ積み、ビニールの豆ハットで雨から守る、もうすぐ脱穀の時期。



190 におの雪帽子
高坂 洋 美瑛町 2016年10月

脱穀の収穫を控えて初雪が到来し、豆ハットを被ったニオ積み白い風景を見せる。



191 土と大地
滝本 紘己 清里町 2016年11月

今年の収穫を終えて、来春の農作業の準備を前に秋起こしを行う。



194 秋霖
武内 聡 美瑛町 2016年9月

秋の長雨に農作業も滞る「秋霖」。秋晴れが望まれる。



192 広がる畑
米野 大輝 美幌高校 2016年9月

防風林が畑を守り、収穫を控えたデントコーン畑が整然と並ぶ。



195 稔り豊かに
佐々木 せい子 美瑛町 2016年10月

美瑛の丘の傾斜地畑に大豆が豊かに実り、刈り取りの時期を待つ。



193 草を食(は)む
丸島 裕一 美瑛町 2015年9月

美瑛の丘の牧場でのんびりと草を食む乳牛たち。もうすぐ畜舎へ。



196 黄金色に輝く
竹田 司 芽室町 2016年10月

初冬を迎えた十勝の野に長芋の蔓も枯れて収穫の時を待つ。



197 休息
竹田 和美 芽室町 2015年11月

十勝を代表するカラマツの防風林に秋の日差しが照りつける。



200 晩秋休息のひとつ
十鳥 恭一 倶知安町 2016年10月

遠くに羊蹄山を望みつつ、トラクターでの農作業が続く。



198 飛翔
川口 善也 東神楽町 2016年9月

大きな鳥が田んぼに1羽飛来、タンチョウか？ 鷺か？



201 神無月の向日葵
弓野 俊幸 新篠津村 2016年10月

緑肥としての働きと農村景観に効果を發揮するヒマワリが咲き誇る。



199 色づく田
川口 善也 東神楽町 2016年9月

上川地方の山間に広がる水田にも、実りの秋が到来する。

冬



202 朝明け
小倉 光男 由仁町 古山地区 2016年1月

夕張川流域で眠りについた田んぼに朝靄が漂う。



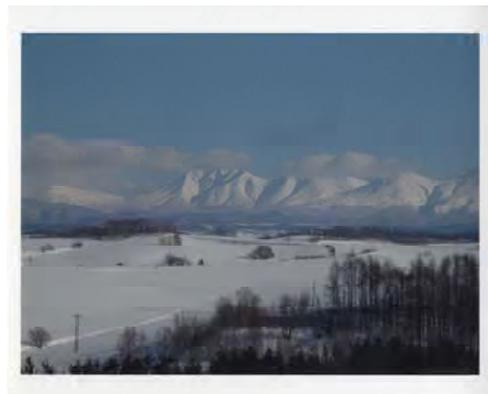
205 大地の夜明け
飛田 信明 音更町十勝が丘展望台 2016年12月

まだ眠りついでる十勝の農村にゆっくりと朝焼けが到来する。



203 春を待つ
秋山 密雄 洞爺湖町香川 2017年2月

秋の収穫を終えた畑で1列に並んだ「しまだて」が収穫を待つ。



206 美瑛の冬(十勝連峰を望む)
中村 宏 美瑛町 2016年1月

美瑛の丘の畑が雪の中で休む、一方で十勝連峰の山々を雪煙が覆う。



204 初日の出の防風林
高田 悦也 芽室町 2017年1月

厳寒の十勝野のカラマツ防風林に前途を祝すように初日の出の光が差し込む。



207 冬の配水調整槽
岡本 孝幸 別海町泉川 2017年1月

雪原に巨大な円形のプールが出現する、酪農経営を支える基盤に。



208 雪中ハウス
山下 和子 倶知安町 2017年2月

春の日を待つ農業用ハウスの骨格を羊蹄山が見下ろす。



211 雪景色を楽しむ
今井 欣一 小清水町 2017年2月

1つの熱気球が斜里岳とオホーツクの景観を展望する。



209 たそがれの丘
藤 正 千歳市 2015年1月

厳寒の季節に木々がサイロや畜舎などを守るように夕日がさす。



212 春待望
住友 照明 更別村 2015年2月

雪の畑を除雪? 「野良イモ」対策として畑に残ったイモの凍結を進める春に備えた重要な作業の1つだ。



210 冬到来
千葉 りつ子 美瑛町 2015年12月

美瑛の丘を吹き渡る風が畑地に雪の風紋付け、遠くに十勝連峰。



213 雪をかぶった棚田
山内 佳子 岩見沢市 2016年2月

空知の山間地に位置する棚田を立体的に雪が被り、映し出す。



214 初春の畑
糸賀 一典 鶴居村 2016年2月

前年の秋に収穫したデントコーン畑に残された子実を探し出すタンチョウの群れ。



217 冬の地と牛たち
橋本 光平 美幌高校 2017年1月

寒いけど今日は青空。まずは日光を浴びて健康維持には大切だ。



215 躍動
田村 謙次 音更町 2015年2月

十勝の牧場の朝。鞍馬用のペルシュロン種やプルトン種が春の出産を控えて一群で疾走する。



218 春支度
柴田 樹 清里町 2016年2月

斜里岳などの山々を背にして除雪作業に追われ、1日も早い春の到来を待つ。



216 厳寒の朝～春待つ水田
下川原 巧 北見市端野町二区 2016年12月

厳寒のオホーツク「もち米団地」の田んぼが春の雪解けを朝日と共に待つ。



219 残雪とコラボ
南 太一 伊達市 2017年2月

北の湘南と言われる「伊達」の丘陵台地から薄雲に覆われたホタテ養殖の盛んな内浦湾を望む。



220 冬の農村
前田 賢一 上富良野町 2015年1月

富良野盆地から十勝連峰の山々がくっきりと青空に映える。白と青のコントラスト